

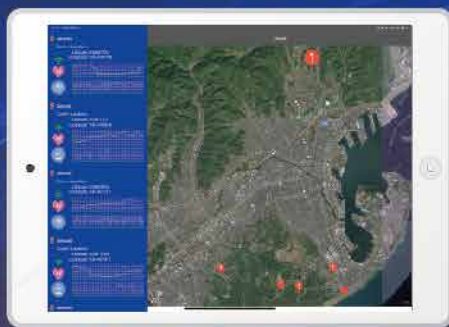
# スマホ連動型 テレメトリーシステム with HealthCare Device

ヘルスケアデバイスを用いたドライバーサポート技術

- 管理者PCからドライバーの状況を確認!
- 管理者端末から運転中車両の自動運転切り替えを可能に!
- クラウドサーバーを利用し各種端末との連携可能!



管理者



タブレット



データを送信し  
遠隔から確認可能に

ウェアラブル  
デバイス



スマートフォン



## システム概要



運転中の情報をクラウドにリアルタイムに送信し、同期されている各種デバイスから情報にアクセスすることができるシステムです。インパネモック、車載スマートフォン、タブレット端末、PC、ウェアラブルデバイスとの同期が可能です。

## 操作イメージ

### STEP 1

スタートボタンを押すと脈波センサーにより脈波が取得されます。ドライバーが着用しているアップルウォッチの心拍数を見て正常範囲内ならばエンジンが始動し、値に応じた音声が流れます。



### STEP 2

モニターには走行中の様子が表示されます。同期された管理者ダッシュボードには走行場所のマップ、その他に加速度データやスピード、心拍数が表示されます。ダッシュボードはモニターに表示させることもでき、管理端末で操作が可能です。



### STEP 3

モックに付属しているタブレット端末には走行中スマートフォンのドラレコ映像が表示されます。その映像情報を元に画像認識が行われ、画面に表示されます。進行方向にいる歩行者(例えば横断歩道を渡る人)がいた場合は警告音声を流します。マップの下には走行中のエリアの周辺天気や交通状況も表示します。



### STEP 4

管理端末からダッシュボード画面の表示を切り替え、ドライバーの運転を遠隔からサポートします。管理端末からドライバーに通話をかけることもできます。状況に応じて管理端末からドライバーの運転を自動運転モードに切り替えることができます。ハザードの点滅操作も出来ます。

